

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-500312(P2018-500312A)

【公表日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-531565(P2017-531565)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/18	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	33/18	
A 6 1 P	17/00	1 0 1
A 6 1 P	31/02	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/32	

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

本明細書に例示的に記載する本発明は、本明細書に具体的に開示しない何らかの要素がなくても好適に実行することができる。したがって、たとえば、本明細書ではいずれの場合も、「備える、含む (comprising)」、「から本質的になる (consisting essentially of)」及び「からなる (consisting of)」という用語のいずれかを、他の2つの用語のいずれかに置き換えることができる。用いた用語及び表現は、限定ではなく説明の用語として使用したものであり、そのような用語及び表現を使用する際、図示及び記載する特徴又はその一部分の何らかの均等物を除外する意図はなく、クレームされる本発明の範囲内で様々な修正形態が可能であることが理解される。したがって、好ましい実施形態及び任意選択の特徴によって、本発明について具体的に開示したが、本明細書に開示する概念の修正形態及び変形形態を、当業者であれば用いることができ、そのような修正形態及び変形形態は、添付の特許請求の範囲によって定義される本発明の範囲内であると見なされることを理解されたい。本発明の実施態様の一部を以下の項目 [1] - [11] に記載する

。

[1]

カルボキシ基含有セルロースエステル又はカルボキシ基含有セルロースエーテルと、消毒剤と、アルコールと、水と、を含む、消毒組成物。

[2]

前記組成物が、ヒドロキシアルキルアルキルセルロースのジカルボン酸モノエステルであるカルボキシ基含有セルロースエステルを含む、項目1に記載の消毒組成物。

[3]

前記組成物が、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート及びヒドロキシプロピルセルロースアセテートスクシナートからなる群から選択されたカルボキシ基含有セルロースエステルを含む、項目2に記載の消毒組成物。

[4]

前記カルボキシ基含有セルロースエステルがヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレートである、項目3に記載の消毒組成物。

[5]

前記組成物が、ヒドロキシアルキルアルキルセルロースであるカルボキシ基含有エーテルを含む、項目1に記載の消毒組成物。

[6]

カルボキシ基含有エーテルがカルボキシメチルセルロースである、項目5に記載の消毒組成物。

[7]

ジカルボン酸エステルを更に含む、項目1～3のいずれか一項に記載の消毒組成物。

[8]

前記消毒剤が、ヨウ素、三ヨウ化物塩及びヨードフォアからなる群から選択されたものである、項目1に記載の消毒組成物。

[9]

前記消毒剤がヨードフォアである、項目8に記載の消毒組成物。

[10]

前記消毒剤がポビドンヨードである、項目9に記載の消毒組成物。

[11]

前記エステル又はエーテルが芳香環を更に含む、項目1に記載の消毒組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルボキシ基含有セルロースエステル又はカルボキシ基含有セルロースエーテルと、消毒剤と、アルコールと、水と、を含む、消毒組成物。

【請求項2】

前記組成物が、ヒドロキシアルキルアルキルセルロースのジカルボン酸モノエステルであるカルボキシ基含有セルロースエステルを含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項3】

前記組成物が、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート及びヒドロキシプロピルセルロースアセテートスクシナートからなる群から選択されたカルボキシ基含有セルロースエステルを含む、請求項2に記載の消毒組成物。

【請求項4】

前記カルボキシ基含有セルロースエステルがヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレートである、請求項3に記載の消毒組成物。

【請求項5】

前記組成物が、ヒドロキシアルキルアルキルセルロースであるカルボキシ基含有エーテルを含む、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項6】

前記カルボキシ基含有エーテルがカルボキシメチルセルロースである、請求項5に記載の消毒組成物。

【請求項7】

ジカルボン酸エステルを更に含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の消毒組成物。

【請求項8】

前記消毒剤が、ヨウ素、三ヨウ化物塩及びヨードフォアからなる群から選択されたものである、請求項1に記載の消毒組成物。

【請求項9】

前記消毒剤がヨードフォアである、請求項8に記載の消毒組成物。

【請求項10】

前記消毒剤がポビドンヨードである、請求項9に記載の消毒組成物。

【請求項11】

前記エステル又はエーテルが芳香環を更に含む、請求項1に記載の消毒組成物。